

# 社会と情報通信の未来に向けて

## 未来に向けて

川崎 達男 × 小池 良次  
ITジャーナリスト



電気通信普及財団は電気通信（情報通信）普及促進のために、公的支援を行う団体として1984年9月1日に設立された。以来、情報通信に関する研究調査、海外渡航への助成や情報通信のさらなる発展に資する優れた著作、研究論文の表彰などを通じ、我が国社会経済の健全な発展に貢献している。設立30周年を記念し、川崎達男理事長とITジャーナリストの小池良次氏が対談し、情報通信のイノベーションなどについて熱く語った。

川崎 本日はよろしくお願いします。  
小池 設立30周年、ありがとうございます。この30年間を振り返ると通信はまた変わった。電話から始まり、アクセスが登場しました。今はインターネット時代で、情報通信技術（ICT）の重要性が高まっています。ただ通信事業者自身のビジネスモデルはだんだんと見えなくなりましたね。

川崎 イベーションの起り方にも変わりました。

小池 アップル時代が到来しつつある。シリコンバレーにはハマードもいました。

川崎 グーグル時代が

小池 う意識に変わりました。

川崎 イベーション

の起り方も変わりました。

小池 おっしゃるところ

です。電話やファックス

は数百万人単位を対象に

したサービスでしたが、

急速にグローバル化し、

ネットは個人単位のサー

ビスの開発が課題になり

ました。また、垂直統合も

進んでいます。米国のアッ

プルにして、グーグル

はだんだんみえなくなり

きました。まだ、垂直統合も

進んでいます。米国のアッ